

みやざき No. 278

〒880-0303
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
TEL: 0985-74-3850
FAX: 0985-74-3950
http://www.i-port.or.jp

令和8年度1号
令和8年10月5日発行

機構トピックス

令和8年度「宮崎中小企業大賞」に宮崎県付加価値向上 チャレンジ企業のKIGURUMI.BIZ（株）が選ばれました！



▲宮崎中小企業大賞 表彰式

左から
KIGURUMI.BIZ(株) 仁田脇 裕子 社長室 室長、
河野 俊嗣宮崎県知事、
KIGURUMI.BIZ(株) 加納 ひろみ 代表取締役



▼心を込めてものづくりに取り組む
KIGURUMI.BIZスタッフ一同



▼高品質な着ぐるみづくりを支える
縫製技術。職人が一体すつ心を
込めて仕上げています。

県内産業の振興や地域経済の活性化に寄与した企業を県が表彰する令和8年度「宮崎中小企業大賞」に、宮崎県付加価値向上チャレンジ企業として当機構が伴走支援しているKIGURUMI.BIZが選ばれ、令和8年8月27日（木）、県庁本館の知事応接室において表彰式が行われました。

同社は、1990年の創業以来、国内外で4,000体以上のオリジナル着ぐるみを製作してきた着ぐるみメーカーです。デザインを忠実に再現する技術と、着る人が快適・安全に動ける機能性を両立し、年間約150～200体を製作。15か国以上への輸出実績があり、タイ企業との協業による生産体制づくりも進めています。

また、バルーン・布等を素材とした立体造形と空間デザインによって、世界を舞台にした「空間芸術」という新たな価値創造を進めています。独自性の高い付加価値創造の取組が高く評価され、今回の受賞となりました。

当機構では、ニッチな分野でナンバーワンとなることにチャレンジし続ける同社を今後も支援してまいります。

中小企業テクノフェア出展で自社製品をPR!

株式会社アコン

〒883-0021 日向市財光寺1805-1
電話：0982-95-0288



機構では、7月8日から10日までの3日間、北九州メッセで開催された中小企業テクノフェアのオール九州ブースの一角に宮崎ブースを出展しました。

来場者17,495人が訪れた会場では、同ブース内に共同出展した県内企業3社が、新たな販路開拓や取引の受注機会を拡大するため、積極的に自社製品や技術のPRを行いました。

このうち、日向市の(株)アコンは、レーザー溶接機の実機を展示、紹介することで、来場者の関心を集めていました。

[出展企業からのコメント]

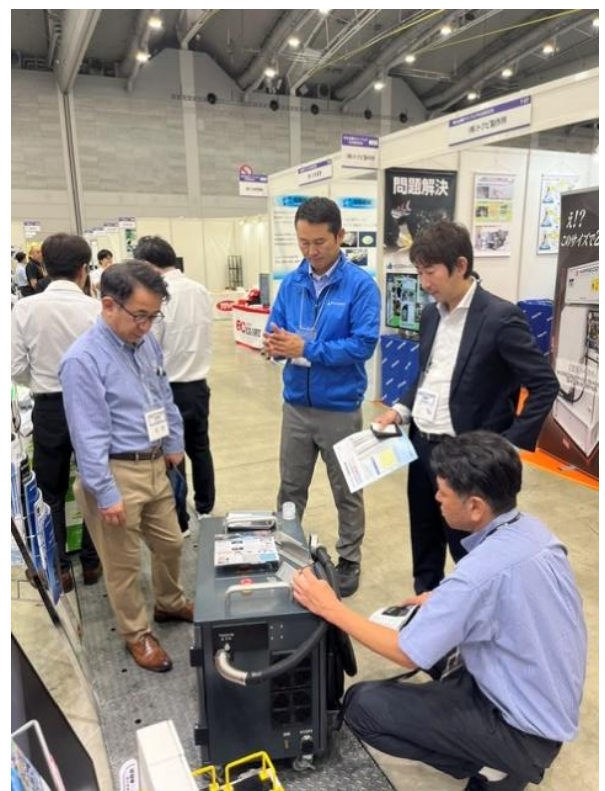
～レーザーをもっと身近に～

宮崎県のレーザー製品メーカーとして、レーザーマーカ、レーザークリーナー、レーザー溶接機を手の届きやすい製品価格で提供しています。展示会ではレーザー溶接機を展示して多くの方にご紹介できました。九州エリアの出展者とのつながりができたことも大きな収穫となりました。

株式会社アコン レーザー事業部課長 鈴木孝弘

[出展企業3社]

- ① (株)アコン (日向市)
- ② (株)井崎製作所 (新富町)
- ③ (株)システム技研 (都城市)



お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構 産業振興課
電話：0985-74-3850

客観的な視点と実践的アドバイスで 構想を確かなビジネスプランへ

担当：宮田理恵コーディネーター

KAYOの海岸物語

〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町樺山4531-4
https://www.instagram.com/kayos_coast_tale/

相談者は宮崎県に移住（Uターン）、創業を考えられており、令和7年5月に当拠点に地域資源を活用した商品開発や店舗開発、販路開拓について相談、支援を希望されました。

そこで、宮崎県は全国屈指の食糧供給基地かつスポーツランドの地であり、県産食材を使ったアスリートミールの提供事業は高い将来性が見込めるとアドバイスをを行い、関係機関等との協議を経て、事業実現に向けた事業内容の整理を行いました。

創業に向けては、まず店舗の物件選定、設備投資及び資金計画の検討、また商品開発や販路開拓に係る課題を整理しました。

その後、事業計画をより実効性の高いものとするため、当機構が実施する「女性・若者応援!起業チャレンジ支援事業」のビジネスプランコンテストへの挑戦を提案し、応募を通じて事業計画のブラッシュアップを図る方針としました。

ブラッシュアップを経て、アスリートフードのみならず、地元の方々向けのお弁当やオードブルにも身体にやさしく健康的なメニューを展開すること、また売上拡大のため店舗販売のみならず、EC販売やふるさと納税など別の販路開拓も助言した。宮崎県ブランド推進本部や企業の産学連携プロジェクト（KDDI・LAWSON・地元大学生による商品開発）を紹介し、相談者を講師として推薦するなど地域との連携を推進しました。また、採用されやすいプレスリリースの書き方をアドバイスしたことで、数々のメディアに取り上げられ、自社ブランドと商品の認知向上に寄与しました。

こうした伴走支援の結果、相談者はビジネスプランコンテストにおいて3位受賞を獲得（補助金200万円）されました。

これを追い風に、令和7年12月、東京都から都市へ移住され、キッチン付き店舗を三股町に構えて創業されました。融資については日本政策金融公庫を紹介し、必要額の融資を実現、資金面の基盤を整えました。

現在はプロリーグに所属するラグビーチームやサッカーチーム、県内の高校（2校）の駅伝部等、スポーツチームからのアスリートミールの受注が着実に増加しています。



写真1（事務所外観）



写真2（スポーツチームへのケータリング風景）

今後も伴走支援のもと、自社EC（通信販売）を拡充し、「宮崎県初のアスリートフード専門家」として、令和9年度開催の国スポを契機に地域で地位を確立し、継続的な支援により全国に向けた製造販売へと更なる飛躍を目指していきます。

【事業者からのコメント】

宮田コーディネーターには様々な支援制度や事業者、地域の方々と繋いでいただき、新しい土地で創業するということ、人とのつながりを通してひとつひとつ知ることができました。前へ進むたびに新しい課題が生まれ、共に進むべき方向を考え、背中を押してくれます。いつも次の扉を開いて導いてくださる、とても心強い存在です。

代表者 柳澤 佳代

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
経営情報課
電話：0985-74-3850

中小企業庁が設置している無料の経営相談所

**宮崎県
よろず
支援拠点**

相談予約はこちら 0985-74-0786

WEB予約はこちら <https://yorozi-miyazaki.go.jp/>

宮崎 よろず

植物の水分状態を非破壊で測定可能な 「非破壊型植物用水分計」を開発しました!!

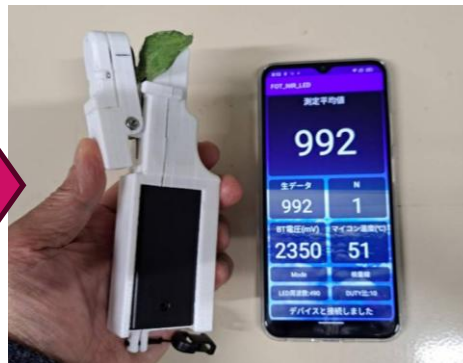
株式会社 エフオーテクニカ

〒889-1602 宮崎市清武町今泉丙1864-10
電話：0985-72-7500

半導体製造や装置保守のアウトソーシング（業務請負）や労働者派遣を事業の柱とし、生産設備の設計開発や半導体真空ポンプメンテナンスも行っています。



<写真①> 試作機 1 号機



<写真②> 試作機 3 号機



<写真③> 正式販売モデル

GreenAqua

農作物の収量や品質を維持するためには、土壌及び植物の水分を適切に管理することが不可欠です。しかし、多くの農業者の方は「土壌水分センサー」により土壌の水分量の管理は行っているものの、植物の水分量については、植物の状態を目視で確認するしか方法がなく、その作業に係る手間などの負担が課題となっています。

そこで（株）エフオーテクニカでは、宮崎大学が有する近赤外線分光法による水分測定に関するシーズを活用し、植物体内の水分状態を非破壊で直接測定可能な水分計の開発に取り組んできました。

試作機による試行錯誤を経て、光学センサー測定ヘッドで葉を挟んで水分量を瞬時に測り、葉を傷つけることなく農産物の生育状態を判断する「非破壊型植物用水分計」を開発しました。

実用化した製品は、令和8年9月に販売開始予定です。商品名：「グリーンアクア」

[支援企業からのコメント]

開発は令和3年に宮崎大学との共同研究としてスタートし、試作を重ねながら、ようやく製品化に至りました。途中、開発を断念しようかと思う場面も多々ありましたが、なんとか製品化までたどり着くことができました。5年という長い開発期間の中で、宮崎県からの支援がなければ製品化は難しかったのではないかと感じています。今回の製品化を機に、現在、柑橘系ストレス測定機を開発中です。さらに「グリーンアクア」の進化型として茎部分を測定する「グリーンアクアセンサー」などの開発も進めていきたいと考えています。

株式会社エフオーテクニカ 製品開発G 係長 緒方

担当・お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
新事業支援課
電話：0985-74-3850

脱炭素の取り組みを推進するモデル企業を育成!

脱炭素社会に向けた
モデル企業育成事業

株式会社 吉玉精鍍

〒882-0024 延岡市大武町39番地24
電話：0982-33-1251

当機構では、脱炭素の取り組みを促進する県内製造業者を「脱炭素推進モデル企業」として選定し、連携協定を締結しているリコージャパン（株）宮崎支社と協働して、エネルギー使用に係る現状把握から削減計画の策定、計画に基づく具体的な取り組みまでを伴走支援しています。このような見本となるロールモデル企業の育成により、県内中小企業における脱炭素化の促進を目指しています。今回は、モデル企業である（株）吉玉精鍍の取り組みをご紹介します。

当社は、半導体、電子、電気、自動車、一般機械の各種部品をはじめ、抵抗器キャップへの錫めっき、半導体モールド用精密金型への高精度硬質クロムめっき、セラミックス基盤へのNi+Auめっきなど独自の技術を有しています。

また、環境に配慮し、これまで産業廃棄物として処分されてきためっきスラッジの一部を当社が開発した錫回収装置を活用することで、高濃度の錫スラッジとして再利用できるようにするなど、資源のリサイクルを行っています。

加えて、スマート業務改革推進室及び環境ISO委員会を立ち上げた上、会社全体の脱炭素対象エネルギーの把握やボイラー稼働時間のタイマー制御などにも取り組まれています。

支援事業においては、令和7年10月に省エネ診断を行い、23項目の投資及び運用による施策案を提案しました。

省エネ診断による提案施策案（一部）

◎投資省エネ / 避難誘導灯LED化や地下水の空調活用

◎運用省エネ / 蒸気配管の保温や室内照度の見直し

提案を受け、同社では早速、サーモセンサーを活用したボイラー設備の熱効率向上（サーモグラフィ画像で発熱が多い配管の確認、保温材を巻き付け）に取り組みました。

今後は、工場内各部署の室温を可視化するため、“自社製EMS（エネルギーマネジメントシステム）”の開発に取り組むなど、積極的な活動計画を立てています。

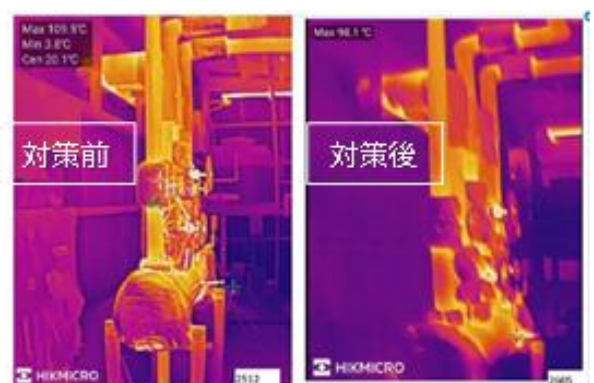
また取り組むにあたっての方針として、「効果の見える化」「成功モデルを確立した上で横展開」「グループウェアで進捗管理」などを掲げています。機構では、引き続き、脱炭素化に取り組む同社を伴走支援していきます。



▲ボイラーの温度を確認



▲研修の様子



▲サーモセンサーを使った効果検証

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

“すべては美味しさのために” 仲間と成長し組織力を高め、宮崎の代表企業へ！

株式会社日向屋

〒889-0605 門川町庵川西6丁目180番地
電話：0982-63-7250



▲社屋

自然豊かな門川町の海沿いに社屋を構える株式会社日向屋は、平成7年7月の創業以来、鶏炭火焼や肉巻きおにぎりなど原料や製造方法などに徹底的にこだわったレトルト食品を製造し、コンビニエンスストアやスーパー、通販などを通じて全国の食卓へ届けています。同社では、自社商品のブランディングを推進し、焼き芋など商品カテゴリーの拡大、海外市場など販路の多様化、DX推進などによる業務効率化等により更なる成長を目指しています。

同社では、成長の基盤となる人材の育成に力を入れるため、当機構に人材育成計画策定について相談。

昨年10月から産業人材育成コーディネーターによる伴走支援を開始しました。支援にあたっては、経営方針や経営計画、組織体制や人事評価制度等の提供を受けて、同社幹部のヒアリングを重ねながら、人材育成の課題・育成施策を明らかにすることで、人材育成計画書の策定をサポートしました。

ヒアリングでは、各職種とその役割などについて詳しく聞き取り、人材育成では解決できない構造的な問題についても整理させてもらいました。同社では、計画に基づく若手職員定着に向けた外部講師による新入社員研修を、今年度から早速実施されています。

今後も効果的な人材育成が展開できるよう、フォローアップ支援を行っていきます。

(産業人材育成コーディネーター 長友健彦)



▲製品



▲産業人材育成コーディネーターによるヒアリング



▲人材育成計画に基づく新入社員研修

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

フードビジネス商品開発・ブラッシュアップ支援事業 補助金による開発商品を紹介!!

食品製造事業者が行う新商品開発や改良に対して補助（補助率：2/3）することにより、本県のフードビジネスの振興を図っています。

令和7年度補助事業対象者の中から（株）ひむか農園を紹介します。

平兵衛酢の魅力を「丸ごと価値化」しました!!

株式会社 **ひむか農園**

〒883-0034 日向市大字富高93-1
電話：0982-52-5052

最優秀賞



ヘベス胡椒

ひむか農園は日向市で日向市発祥の希少柑橘である「平兵衛酢（へべす）」を栽培しています。この「へべす」の果汁から果皮までを廃棄することなくフルに活用する「丸ごと価値化」の商品設計により、「へべす胡椒」を開発。「MIYAZAKI FOOD AWARD 2026」において、自然環境に配慮した食品部門で「最優秀賞」を受賞しました。昨年11月末の発売以降、販売実績は順調に伸びています。

また、原料である「へべす」は、芳醇でえぐみが少ない食味が特長で、ミシュラン星付き店で採用されるなど高い評価を受けています。当農園では、さらに、地域の耕作放棄地再生や、地域資源を循環させる農法を取り入れるなど、環境と生産の両立にチャレンジしています。

（取締役 内山 雅仁）



へべすの将来を担う生産法人である「ひむか農園」が果皮を利用して開発した商品。開発に活用できる補助事業の紹介や商品開発に際しての情報収集・調査に関する助言やアドバイスなどの支援を行いました。「へべす」の販路拡大に向けても、引き続き支援を行っていきます。

（コーディネーター：諏訪園 哲哉）

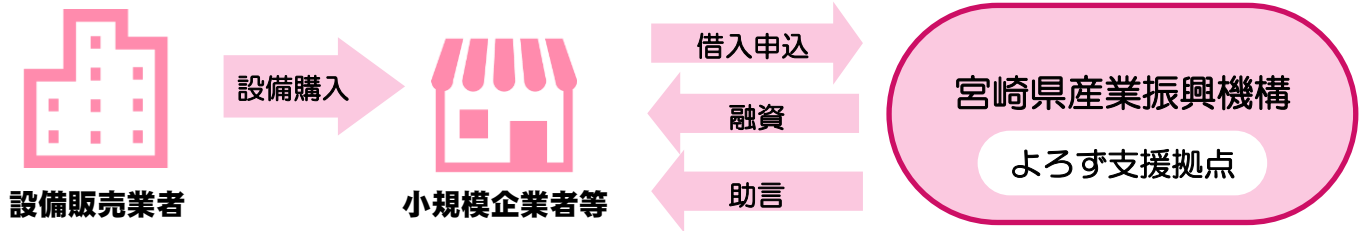
お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション
電話：0985-89-4452
E-mail: food@mepo.or.jp

設備導入に関する融資制度「みやざき設備資金貸付事業」

小規模企業者等の皆様が、経営基盤の強化を図るため、必要な設備を購入される場合、その設備導入資金の一部(1/2以内)について無利子で融資を行っています。(貸付審査会による審査があります。)

なお、貸付申請者には、御希望に応じてよろず支援拠点のコーディネーターが随時助言を行いながら、経営基盤の強化を支援します。



申請対象	県内の小規模企業者等（常用従業員数50名以下）
対象設備	経営基盤強化のために必要な設備（土地・建物は対象外）
償還期間	3年以上7年以内（元金据置は最長6ヶ月）
貸付額	50万円～2,500万円 「フードビジネス」「メディカル」「自動車」「成長期待企業等」で、一定の条件を満たした場合、上限が3,000万円となります。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850

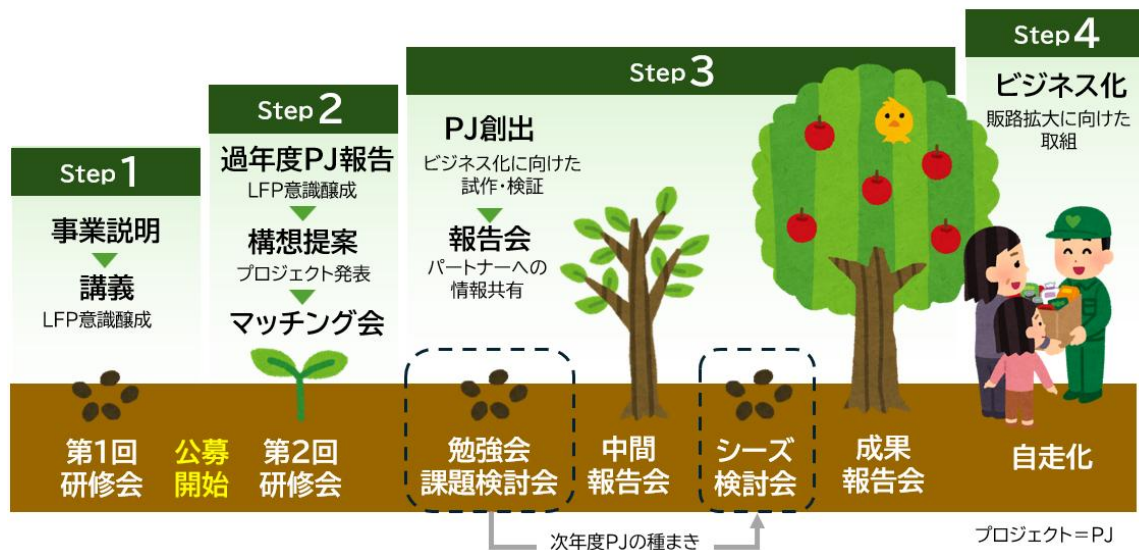


みやざきLFP 食の新たな連携ビジネス創出を支援しています!

みやざきLFP（ローカルフードプロジェクト）は、宮崎県が主催の事業で、農林漁業者や加工・販売業者、観光業者など多様な関係者と連携し、それぞれの強みを出し合いながら「宮崎の食資源を活用した新ビジネス創出」に挑戦する仕組みです。現在330者を超える事業者が参画し、県からの補助金も活用しながら、県産食資源の高付加価値化や新商品やサービスの開発に取り組んでいます。

事務局を運営しているステーションでは、研修会や交流会を開催し、会員同士のマッチングやプロジェクトの支援を行っています。

食ビジネスの「種（シーズ）」を育て、成長させる場をご提供します



第2回研修会の様子

【令和8年度 みやざきLFP行事予定】

5月25日：第1回研修会
6月22日：第2回研修会
10月9日：勉強会・課題検討会
販路から考える「売れる商品と価格」
11月11日：中間報告会
1月27日：プロジェクトのシーズ検討会
3月1日：成果報告会

【採択プロジェクトを伴走支援中】

- 「日向夏が宮崎を照らす！」プロジェクト
合同会社香月ワインズ
- ひのかげ香りプロジェクト
ひのかげ香りプロジェクト推進協議会
- 宮崎ブランド「みやざき地頭鶏」を使った新商品の開発
みやざき地頭鶏事業協同組合
- 自然薯を軸にした食料システム モデル構築事業
サイバイマン合同会社

みやざきLFP事例紹介



西米良村希少柚子プロジェクト

西米良村を代表する香りが強い柚子を守り、その香りを活かした村伝統の食文化のPR強化を目的とした「青柚子」のブランディングやギフトセット、加工品（柚子胡椒、お菓子）の開発



YouTubeで
視聴できます!

【会費無料】

LFPへの入会はHPより
随時受付中です→



お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション 電話：0985-89-4452 E-mail：lfp@mepo.or.jp

地域資源を活用した付加価値創出に 取り組む事業者を支援しています！

地域資源活用・地域連携サポート事業は、6次産業化など地域資源を活用した付加価値創出に取り組む農林漁業者等の事業計画実現に向け、各種専門家（プランナー）を派遣して伴走支援を行う事業で、ステーションは地域サポートセンターの役割を担っています。

令和7年度の支援対象11事業者の中から、ステーションが商品開発、食品表示、販路開拓などを支援した（有）浅野水産を紹介します。

「塩麹漬けカツオたたき」が「MIYAZAKI FOOD AWARD2026」で最優秀賞を受賞しました！！

有限会社**浅野水産**

〒889-3203 日南市南郷町中村乙2380
電話：0987-64-3841

最優秀賞



南郷町目井津港を拠点に沖合漁船を操業する（有）浅野水産。江戸時代から続く「かつお一本釣り漁法」を継承しています。漁獲量30年以上連続日本一を誇る「日南のかつお」の美味しさを広く知ってもらうために試行錯誤の中、たどり着いたのが塩麹です。開発した「塩麹漬けカツオたたき」はかつお本来の旨みとしっとり食感が自慢。「MIYAZAKI FOOD AWARD 2026」の宮崎県の魅力を伝える食品部門で「最優秀賞」を受賞しました。

（取締役 浅野 美智代）

県が産直ECサイト「ポケマル」とタッグを組んだ事業において出品に関する指導のほか、パッケージラベルや食品表示について助言。引き続き販路拡大を支援します。

（コーディネーター 藤藪 志保）



お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション
電話：0985-89-4452
E-mail：food@mepo.or.jp

計画的な人材育成に取り組んでみませんか！

慢性的な人手不足や働き方の変化など中小企業を取り巻く環境が著しく変化するなか、企業の未来を左右する人材育成の重要性はますます高まっています。

当機構では、人材育成に関する相談をお受けし、解決に向けた各種支援策をご案内するほか、専門家である産業人材育成コーディネーターが、貴社の課題を抽出し、中長期を見据えた人材育成計画書の策定を支援します。⇒人材育成計画書策定プロセスは次ページ



【支援対象】

県内の製造業を営む中小企業

【相談方法】

電話、Web、来室による対面でお受けするほか、貴社を訪問することも可能です。

【相談予約】

相談を希望される場合は予約が必要です。下記問合せ先までご連絡ください。



産業人材育成コーディネーター

長友 健彦（中小企業診断士）

日向市出身。銀行勤務ののち東京のコンサルタント企業で人材育成施策の企画・教材開発、人事制度の導入や事業化支援、M&Aの仲介等に従事。

詳細については、お問い合わせ下さい。

問合せ先

公益財団法人 宮崎県産業振興機構 企業成長促進室 担当：古川・林
 〒880-0811 宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンスフィア壱番館（KITEN）3F
 TEL0985-77-5563 ☒ kigyoseicho@mepo.or.jp

人材育成計画書策定のプロセス

産業人材育成コーディネーターが、貴社の人材育成計画書策定のため、次のステップで伴走支援を行い、5か月程度を目途に策定を支援します。

Step 1 会社の方針と現状の確認



経営理念や経営計画、事業課題、人材課題、現在の人事制度などについて、貴社の資料を提供いただき、確認させていただきます。

（1か月程度）

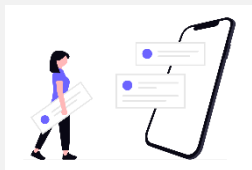
Step 2 人材課題の詳細確認



組織体制や等級定義に基づき、現在の各職種、各役割に求める仕事とその現状について、貴社の等級定義、人事評価、組織図などの資料を提供いただき、詳細にお伺いします。

（1か月程度）

Step 3 人材育成の課題の設定



各職種・各役割のヒアリング内容から人材育成の問題と、それ以外の構造的な問題に整理します。その上で育成課題を設定します。

（1か月程度）

Step 4 育成施策の明確化



育成課題に対して、会社の状況や制約条件を踏まえて、現実的に実行可能となる育成手段を調査して、採用する施策を明確にします。

（1か月程度）

Step 5 人材育成計画書（※）の完成



会社方針、経営課題、人材課題を踏まえた人材育成となっているかを協議しながら人材育成計画書を策定します。

※別添人材育成計画書様式を参照

（1か月程度）

フォローアップ

計画に基づく研修の受講支援、社内研修の講師紹介、人材育成計画書の変更、新たな研修メニューの紹介など効果的な人材育成が展開できるようフォローアップを行います。

中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さん！ 取引上の悩みを抱えていませんか？



- 支払期日を過ぎても代金を支払ってもらえない
- 追加の工事・加工をしたのにその分の代金を支払ってもらえない
- 労務費や原材料費が上昇しているのに単価の引き上げにに応じてもらえない
- 一方的に単価の引き下げを求められている
- 書面での発注をお願いしているがに応じてもらえないetc

取引かけこみ寺 に相談してみてもいいかもしれません。
相手方との交渉や代金回収の方法などについて知ること、
悩みやトラブルが解決できる場合があります。

「取引かけこみ寺」は、受託取引の適正化の推進を目的に、中小企業庁が全国48か所に設置した相談窓口で、本県は宮崎県産業振興機構に設置されています。

あなたの相談には専任の相談員が応じます。なお、受託取引に限らず、一般の商取引に関する困り事等の相談にも応じます。

悩む前に一度相談してみませんか。



相談のながれ

- 1) 相談専用フリーダイヤルやメールでお問い合わせください。専任の相談員が電話や面談でお話をお聴きし、取引上の問題点・課題等を整理して、必要な助言等を行います。
【相談対応可能日】月、火、木、金の午前9時から午後5時まで（ただし祝日等は除きます）
※相談員が不在の水曜日は、取引かけこみ寺本部（（公財）全国中小企業振興機関協会内）をご案内します。
- 2) 法律関係の整理が必要な場合や法手続きについて検討した方がよい場合には、相談者の希望により無料弁護士相談をご案内します。（ただし匿名での相談は受けられません。）
- 3) さらに調停による解決を希望される場合には、取引かけこみ寺本部が実施するADR（裁判外紛争解決手続き）をご案内します。

取引かけこみ寺にご相談ください！

相談専用フリーダイヤル
相談専用メールアドレス
所在地

0120-418-618
soudanmoushikomi@zenkyo.or.jp
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
（公財）宮崎県産業振興機構
☎ 0985-74-3850

宮崎県よろず支援拠点へどうぞ！

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

当拠点ホームページでは、セミナー・イベントの開催をお知らせするとともに、相談予約もできます。是非御覧ください。またフェイスブックやインスタグラムでも情報発信を行っています。

電話でのご予約はこちら
受付時間 平日8:30～17:00
(12:00～13:00を除く)

☎ 0985-74-0786

ワンストップ相談窓口について

経営に関するどんなお悩みも、先ずはお気軽に御相談ください！

中小企業診断士・弁護士・税理士・社労士・ITや広報のプロなど、幅広い分野の専門家が無料でサポート。創業・税金・契約・SNS集客・事業承継まで、経営上のお悩みに寄り添って一緒に解決します。

生産性向上支援センターについて（令和8年4月開設）

「人手が足りない」「作業のムダを減らしたい」とお悩みの事業者さまへ！

経験豊富な生産性向上のプロであるサポーターが無料で現場を訪問し、皆様と目線を合わせて課題の解決を一緒に考え、改善に向けた助言や支援を行ってまいります。飲食店や小売店など製造業以外の幅広い業種にも対応しています！

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を見直したい。そんな悩みでも大丈夫です。是非、このセンターを利用していただき、身近なことから現場を変えてみませんか？

こんな支援をしています（リネンサービス業の事例）

相談内容

自動機を導入したが残業が減らない！！

現状調査と「現場の可視化」

課題1：投入スピードと速度のミスマッチ

投入スピードと機械速度が合わず、自動機への人員数が過剰（運転員過剰）となっていた。

課題2：真のボトルネック

自動機の性能ではなく、前工程である「洗濯」の処理能力が全体の停滞を引き起こしていた。

実行した改善策

人員最適化

自動機の投入人員を半減し、浮いた要員をボトルネックである「洗濯工程」へ配置転換。

洗濯能力の向上

洗濯温度を上昇させて洗浄力を高め、洗濯時間を半減。

支援の成果

残業時間（時間外労働）の大幅な縮減と、工場全体の生産性向上を達成！

私たちサポーターが“現場の本当の課題”を見つけ出し、その改善策をアドバイスします！

相談予約はこちら

☎ 0985-74-0786

WEB予約はこちら

<https://yoroze-miyazaki.go.jp/>

宮崎 よろず

